

令和4年度 西津小学校学校評価シート No.1

重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	%	**	前期評価		後期評価		
								A	B	A	B	
①伝え合う力…意思疎通 自分の考えを持ち、相手の考えを伝えたり、聞いたりすることができる子	人権意識の涵養のため、伸ばしてほしい価値と伸ばしてほしくない価値を共有し、適時的・適時的なフィードバックを行う。	取組	子どもたちの日々の生活の様子から、人権意識を高めるためのフィードバックを即時的・適時的に行うことに努めている。	子どもたちの日々の生活の様子から、人権意識を高めるためのフィードバックを即時的・適時的に行うことに努めていますか。	教職員	A 38.5 B 61.5 C 0.0 D 0.0	***		A 38.5 B 61.5 C 0.0 D 0.0	***		
			【目標指数】A+Bが80%以上	日々の生活の中で、人権意識を高め、差別に対する正しい見方・考え方を身につけることができる。	身の回りの不公平なことやいじめに対し、おかしい、許さないという気持ちをもち、つづいていきますか。	児童	A 62.6 B 20.7 C 5.5 D 1.2	***		A 61.8 B 33.8 C 3.5 D 0.8	***	
			【目標指数】A+Bが80%以上	子どもは人権意識を高め、差別に対して正しい見方・考え方を身につけたか。	お子さんは人権意識を高め、差別に対して正しい見方・考え方を身につけていると思いますか。	保護者	A 34.4 B 57.8 C 6.2 D 1.6	***		A 34.4 B 57.8 C 6.2 D 1.6	***	
		成果	生活チェックなどで、児童に友だちのよさを意識させたり、学年に合わせたよさを認め合う活動に取り組んだりする。	児童一人ひとりがたがいのよさを認め合うことができる取組に努めていますか。	教職員	A 30.8 B 68.2 C 0.0 D 0.0	***		A 30.8 B 68.2 C 0.0 D 0.0	***		
			【目標指数】A+Bが80%以上	学校や学級のみんなのよいところやがんばる姿を見つけることができる。	まわりのみんなのよいところやがんばる姿を見つけることができますか。	児童	A 70.0 B 24.5 C 4.3 D 1.2	***		A 66.5 B 29.3 C 3.4 D 0.8	***	
			【目標指数】A+Bが80%以上	自分が学校や学級の中で、他者にも大切にされていることを実感できる。	自分もまわりのみんなも、よいところやがんばっていることがあることに気づき、みんな大切な存在だと感じているか。	児童	A 57.1 B 39.3 C 3.6 D 0.0	***		A 54.2 B 41.0 C 3.2 D 1.6	***	
		満足度	子どもは、自分も他者もそれぞれ、よいところやがんばっていることがあることに気づき、みんな大切な存在だと感じているか。	お父さんは、自分も他者もそれぞれ、よいところやがんばっていることに気づき、みんな大切な存在だと感じているか。	保護者	A 49.2 B 48.4 C 2.4 D 0.0	***		A 49.2 B 48.4 C 2.4 D 0.0	***		
			【目標指数】A+Bが80%以上	各行事でふり返りシートを活用し、周りの人と協力することのよさについて考えさせる。	各行事でふり返りシートを活用し、周りの人と協力することのよさについて考えさせることができましたか。	教職員	A 36.4 B 63.6 C 0.0 D 0.0	***		A 36.4 B 63.6 C 0.0 D 0.0	***	
			【目標指数】A+Bが80%以上	毎日の授業や行事で、友だちと協力することができたか。	毎日の授業や行事で、まわりのみんなと協力しながら取り組んでいますか。	児童	A 64.8 B 30.9 C 4.3 D 0.0	***		A 73.2 B 21.4 C 4.8 D 0.6	***	
		成果	学校が楽しいと感じる。	学校は楽しいですか。	児童	A 68.1 B 25.9 C 3.1 D 4.9	***		A 60.5 B 30.5 C 5.2 D 3.8	***		
			【目標指数】A+Bが90%									

共に伸びる子

令和4年度 西津小学校学校評価シート No.2

重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***		**		前期評価		%		後期評価		
					教職員	児童	教職員	児童	教職員	児童	教職員	児童	教職員	児童	
①自ら学ぶ力...基礎・基本の定着 各教科の内容を学ぶ中で、必要な資質・能力を習得することができる子	・「読み書き・計算」を学習の基礎・基本と捉え、ドリルタイム等の場で継続して取り組み、学力の定着を図る。 ・休み明けテストを実施する。	取組	児童が基礎的・基本的な知識や技能を定着させるためにドリルタイム等を有効に活用できているか。	A 十分活用している	63.6	61.3	38.5	64%	36%	38.5	61.3	38.5	62%	38%	
			B ある程度活用している	36.4	38.7	61.3	37%	62%	38.5	61.3	38.5	61.3	38.5	62%	38%
		C あまり活用していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		D 活用していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	成果	基礎的・基本的な内容(漢字)がわかる。	自分の学年で習った漢字の読み書きはできていますか。	A できている	37.4	49.7	50.3	37%	50%	50.3	49.7	50.3	35%	50%	
		B どちらかといえば できている	49.7	11.7	34.7	12.0	34.7	12.0	35%	50%	34.7	12.0	35%	50%	
	C どちらかといえば できない	11.7	1.2	12.0	3.0	12.0	3.0	3.0	3.0	12.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	D できていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	成果	基礎的・基本的な内容(計算)がわかる。	自分の学年で習った計算はできていますか。	A できている	54.0	32.5	56.9	33%	54%	54.0	32.5	56.9	31%	56%	
		B どちらかといえば できている	32.5	12.4	30.5	11.4	30.5	11.4	31%	56%	30.5	11.4	31%	56%	
C どちらかといえば できない	12.4	1.2	11.4	1.8	11.4	1.8	1.8	1.8	11.4	1.8	1.8	1.8	1.8		
D できていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
取組	休み明けテストを実施し、学級平均80点以上をめざす。	休み明けテスト(漢字)で学級平均は何点だったか。	A 90点以上	25.0	50.0	50.0	25%	50%	25.0	50.0	50.0	33%	50%		
	B 80~89点	50.0	25.0	33.3	16.7	33.3	16.7	33%	50%	50.0	33.3	33%	50%		
C 60~79点	25.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
D 60点以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
取組	休み明けテストを実施し、学級平均80点以上をめざす。	休み明けテスト(計算)で学級平均は何点だったか。	A 90点以上	37.5	50.0	50.0	37%	50%	37.5	50.0	50.0	33%	50%		
	B 80~89点	50.0	12.5	33.3	16.7	33.3	16.7	33%	50%	50.0	33.3	33%	50%		
C 60~79点	12.5	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
D 60点以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
満足度	子どもに国語や算数の基礎的な力(読み書き・計算)が身に付いている。	お子さんに国語や算数の基礎的な力(読み書き・計算)が身に付いていると思いますか。	A 身に付いている	27.3	57.0	31.9	27%	57%	27.3	57.0	31.9	32%	50%		
	B どちらかといえば 身に付いている	57.0	14.1	16.0	2.1	16.0	2.1	50%	57%	16.0	2.1	50%	57%		
C どちらかといえば 身に付いていない	14.1	1.8	2.1	1.8	2.1	1.8	1.8	1.8	2.1	1.8	1.8	1.8	1.8		
D 身に付いていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
②活用する力...情報活用 課題を解決するために、身につけた資質・能力を活用することができる子	取組	教育課程を見直し、各教科等や特別活動の計画を柔軟に行う。	教育課程全体を見通して、授業計画を立てることができているか。	A 十分できている	18.2	81.8	37.3	18%	82%	18.2	81.8	37.3	18%	82%	
		B ある程度できている	81.8	0.0	50.0	12.5	50.0	12.5	50%	82%	50.0	12.5	50%	82%	
	C あまりできていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	D できていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
成果	身につけた力を他教科や行事等で活かすことができる。	授業などで身につけた力をほかの場面で活かすことができているか。	A できている	44.2	41.7	49.4	44%	42%	44.2	41.7	49.4	41%	50%		
	B どちらかといえば できている	41.7	11.7	41.1	7.2	41.1	7.2	41%	42%	41.1	7.2	41%	50%		
C どちらかといえば できない	11.7	2.4	7.2	2.3	7.2	2.3	2.3	2.3	7.2	2.3	2.3	2.3			
D できていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
③自らの学びを追求する力... 自分の興味・関心のあることについて、自分なりの方法で深め追求することができる子	取組	児童が主体的に取り組める授業や場の設定を行う。	児童が主体的に取り組める授業や場の設定を行うように努めているか。	A 十分努めている	33.3	66.7	11.1	33%	67%	33.3	66.7	11.1	33%	67%	
		B ある程度努めている	66.7	0.0	88.9	0.0	88.9	0.0	89%	66.7	0.0	88.9	0.0	89%	
	C あまり努めていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	D 努めていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	成果	主体的に学習に取り組むことができる。	自分の考えをもって課題に取り組んでいますか。	A できている	46.0	44.1	44.9	44%	44%	46.0	44.1	44.9	46%	45%	
B どちらかといえば できている		44.1	9.3	45.8	8.4	45.8	8.4	46%	44%	44.1	9.3	46%	45%		
C どちらかといえば 取り組んでいない	9.3	0.6	8.4	1.2	8.4	1.2	1.2	1.2	9.3	0.6	8.4	1.2			
D できていない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
満足度	自分の興味・関心のあることについて、主体的に取り組むことができる。	お子さんは自分の興味・関心のあることについて主体的に取り組んでいると思いますか。	A 取り組んでいる	52.8	40.9	50.6	41%	53%	52.8	40.9	50.6	32%	61%		
	B どちらかといえば 取り組んでいる	40.9	5.6	31.9	6.2	31.9	6.2	32%	41%	40.9	5.6	32%	61%		
C どちらかといえば 取り組んでいない	5.6	0.7	6.2	1.3	6.2	1.3	1.3	1.3	5.6	0.7	6.2	1.3			
D 取り組んでいない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
【目標指数】A+B が 80%以上	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

自ら学ぶ子

令和4年度 西津小学校学校評価シート No.3

重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	% **	前期評価		後期評価		
							%	評	%	評	
①挑む力...自信 自信を持っていろいろなことに興味を広げてやってみることで、喜びと達成感を感じ取ることができる子	朝運動の結果を個人で記録することで見える化し、それをもとにショートスパンの目標を設定させたり、ふり返ったりすることにより高い目標にチャレンジできる基盤をつくる。	取組	教員は、児童が自分にあった目標を立てられるように話し合ったり、考えたりする時間を設けた。	教員は、児童が自分にあった目標を立てられるように、話し合ったり、考えたりする時間を設けているか。	教職員	53.3	67%	33%	63%	37%	
			A 十分できている	B ある程度できている	C あまりできていない	D できていない					
			【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0						
			児童は、自分にあった目標を立てることができた。	学校行事では、自分にあった目標を立てることができていますか。	児童	62.8					30%
	A できている	B どちらかといえばできている	C どちらかといえばできない	D できていない							
	【目標指数】A+Bが90%以上	計	100.0								
	自分で目標をたてて、学習活動や行事に取り組むことができた。	お子さんは、学習活動や行事に目標をもって取り組むことができていますか。	保護者	27.6	27%	61%	37%	50%			
	A 取り組んでいる	B どちらかといえば取り組んでいる	C どちらかといえば取り組んでいない	D 取り組んでいない							
	【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0								
	満足度										
	②高める力...向上心 自分でみつけた目標のために取組、次の課題や目標をみつける子	「がんばりカード」を活用し、ふりかえり用のファイルを作って記録を蓄積していく。学校行事や体験活動などのふりかえりでは、同一観点で自己評価させることで、行事固有の目標に対する評価だけでなく、年間を通じた自己評価ができるようにする。	取組	教員は、児童が自分にあった目標を立てたり、ふりかえりできるように、見直しをもって取り組ませることができた。	教員は、育てたい児童像を意識しながら、目的意識や見直しをもって取り組ませることに努めていますか。	教職員	46.2	54%	46%	22%	78%
				A 十分努めている	B ある程度努めている	C あまり努めていない	D 努めていない				
【目標指数】A+Bが80%以上				計	100.0						
児童は、自分にあった目標をたて学習に取り組む、自分の伸びを実感することができた。				目標に向かって取り組み、自分のびを実感することができていますか。	児童	50.6	42%				
A できている		B どちらかといえばできている	C どちらかといえばできない	D できていない							
【目標指数】A+Bが90%以上		計	100.0								
自分で課題を見つけ、解決に向けて取り組むことができた。		お子さんは、課題を見つけ、解決に向けて取り組んでいると思いますか。	保護者	11.7	12%	54%		19%	51%		
A 取り組んでいる		B どちらかといえば取り組んでいる	C どちらかといえば取り組んでいない	D 取り組んでいない							
【目標指数】A+Bが80%以上		計	100.0								
満足度											
③あきらめない力...根気 失敗しても気持ちを切り替え繰り返し、あきらめずに最後までやりきることができる子		Q-Uや教育相談、学級力アンケートを活用し、学級の状態を児童に明示することで、チャレンジしやすい学級づくりを行う。	取組	教育相談やアンケートの結果を学級づくりに活用した。	教育相談やアンケートの結果を学級づくりに活用するように努めているか。	教職員	54.5	46%	54%	14%	86%
				A 十分努めている	B ある程度努めている	C あまり努めていない	D 努めていない				
	【目標指数】A+Bが80%以上			計	100.0						
	失敗してもあきらめずに最後までやりきることができた。			失敗してもあきらめずに最後までやりきることができていますか。	児童	66.3	29%				
	A できている	B どちらかといえばできている	C どちらかといえばできない	D できていない							
	【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0								
	失敗してもあきらめずに最後までやりきろうとしていた。	お子さんは、失敗してもあきらめずに最後までやりぬこうとしていますか。	保護者	22.7	23%	52%		32%	51%		
	A やりぬこうとしている	B どちらかといえばやりぬこうとしている	C どちらかといえばやりぬこうとしていない	D やりぬこうとしていない							
	【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0								
	満足度										

チャレンジシート

令和4年度 西津小学校学校評価シート No.4

	重点目標	具体的取組	指標	評価の観点・目標指数	判断基準	***	% **	前期評価		後期評価											
								%	***	%	***										
ふるさと大好き子	①ふるさとを愛する心 ふるさと小浜・西津をさらに好きになる子	・生活科・総合的な学習の時間を軸に、系統的な「ふるさと学習」を通じて、西津の歴史・文化・産業・人々について調べ、「ひと・もの・こと」との出会いの場面を多く持つことにより「西津が大好き」と思える児童を育てる。	取組	生活科や「いさりび」の時間に、地域素材との出会いの場を積極的に取り入れ、児童のふるさとへの愛着がさらに高まる学習を展開した。	生活科や「いさりび」の学習では、地域素材との出会いの場を積極的に取り入れ、児童のふるさとへの愛着が高まる学習を展開できているか。	教職員	44.4	56%	44%	80.0	40%	60%									
				A 十分できている	B ある程度できている	C あまりできていない	D できていない														
				【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0															
				成果	児童は、「ふるさと西津(小浜)の自慢」を相手に説明できる。	ふるさと西津の自慢を相手に説明できていますか。	児童						51.5	36%	51%	50.6	36%	51%			
					A できている	B どちらかといえばできている	C どちらかといえばできない						D できていない								
					【目標指数】A+Bが90%以上	計	100.0														
	満足度	子どもは、生活科や「いさりび」の時間の活動をを通して、西津の良さを見つけている。	お父さんは、生活科や「いさりび」の学習で学んだふるさと西津のよいところについて家で話していますか。		保護者	21.9	22%	44%	33.0	38.3	21.3	7.4	33%						38%		
		A 話している	B どちらかといえば話している	C どちらかといえば話していない	D 話していない																
		【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0																	
		取組	地域の現実や願いを大切に	ふるさと学習カレンダーをもとに、探究サイクルを意識したストーリー性のある学習を展開し、得た知識をもとにさらに児童の考えが深まる学習を行っているか。	教職員	11.1								11%	78%	40.0	60.0	0.0		0.0	60%
	して、児童の思考の流れや、探究サイクルを意識したストーリー性のある学習を展開し、持続可能な社会の実現に向けて児童の考えが深まる学習を行った。		A 十分できている	B ある程度できている	C あまりできていない	D できていない															
	【目標指数】A+Bが80%以上		計	100.0																	
成果	児童は、西津をより良くするために、自分にできることを考えて行動できます。		ふるさと西津をより良くするために、自分にできることを考えて行動できていますか。	児童	45.7	40%	46%	52.4	38.1	8.3	1.2	38%	53%								
	A できている		B どちらかといえばできている	C どちらかといえばできない	D できていない																
	【目標指数】A+Bが80%以上		計	100.0																	
	・「ふるさと遠足」等で地域に足を運び、地域の現実や願いを知ることを通して、課題に目を向け、課題解決の方法を考えられるようにする。	【目標指数】A+Bが80%以上	計	100.0																	